

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 静岡工科自動車大学校
設置者名	学校法人 静岡自動車学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	自動車システム工学科	-	3065 時間	320 時間 (4 年制)	-
	自動車整備科	-	1262 時間	160 時間 (2 年制)	-
	国際オートメカニク科	-	1379 時間	240 時間 (3 年制)	-
	ハイエンジニア研究科	-	1089 時間	160 時間 (2 年制)	-
	ボディデザイン研究科	-	907 時間	80 時間 (1 年制)	-
(備考) 自動車システム工学科の1年は新教育課程、2～4年は旧教育課程である					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページで公開 https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/ac5ef7b055c2d186f15510db960b02e4.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 静岡工科自動車大学校
設置者名	学校法人 静岡自動車学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページで公表 https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/f54e0facda15e66cc3247c9b54ef8c25.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	前職 物流関係会社役員	2018.6.1～ 2020.5.31	代表・総理
非常勤	前職 自動車関連会社役員	2018.6.1～ 2020.5.31	コンプライアンス
非常勤	前職 官公庁 公務員	2018.6.1～ 2020.5.31	コンプライアンス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 静岡工科自動車大学校
設置者名	学校法人 静岡自動車学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)を作成するにあたり、「授業計画(シラバス)作成ガイドライン」を定め、ガイドラインに沿って作成している。</p> <p>授業計画(シラバス)は毎年度、期末に見直しを実施し内容を更新している。また、授業計画は毎年度更新したものを本校のホームページ上に掲載、公開し閲覧可能な状態にしている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本校ホームページで公表</p> <p>https://www.kohka.jp/disclose</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学習成果の評価方法については本校の「学則」、「教務規定」及び「単位認定の方針について」に定め、その内容に従って評価を実施している。シラバスに科目ごと評価方法を記載し公表している。</p> <p>学生便覧</p> <p>https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/45395d8661a700ad68aaf9c7826e8dea.pdf</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学則 8 ページ ・教務規定 15 ページ <p>単位認定の方針について</p> <p>https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/d3bb87188971c423180d0a4470e63859.pdf</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各科目の成績は100点満点の点数で表し、秀、優、良、可、不可に区分するとともにGP及びGPAを算出することを「GPAの算出について」に定め、ホームページで公表している。期末にはGPAから成績の分布状況を把握し、成績不振者の指導材料としている。</p>	

客観的な指標の算出方法の公表方法	本校ホームページで公表 「GPA の算出について」 https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/31b18682291ba79461c11dd2b0256b7a.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ディプロマポリシーに沿って、学則及び教務規程の卒業要件を満たしているか、学生個々に判定し校長の決裁を経て卒業認定を行っている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	本校ホームページで公表 「ディプロマポリシー」 https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/73cf64f8005e9fc058f102287d65cf3e.pdf

上表 1～4 については、すべての学科について同様の取扱いをしている。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 静岡工科自動車大学校
設置者名	学校法人 静岡自動車学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校ホームページで公開 https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/964183d71f9ab4d2b0b4b39ef7dc10c0.pdf
収支計算書又は損益計算書	本校ホームページで公開 https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/b72be1e964f0c0f6c281d6c9d55c87.pdf
財産目録	本校ホームページで公開 https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/1b862f6404670bd2ccaa43e2a3bd6133.pdf
事業報告書	本校ホームページで公開 https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/364c1c7c3d062e3e39173ea88a0bc70a.pdf
監事による監査報告（書）	本校ホームページで公開 https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/7991fb77dbf60ad1f10223aa9a88681f.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程（工業分野）	自動車システム工学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	4717.8 単位時間/単位	2093.4 単位時間 /単位	0 単位時 間/単位	2624.4 単位時間 /単位	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		120人	1人	19人	7人	26人	

※ 1年生は新教育課程、2～4年生は旧教育課程である。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 教育課程表及びシラバス https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/8f987127cf43e49a13f0429d745757fb.pdf
成績評価の基準・方法 （概要） 学生便覧 P3-2（教務規定 第5条） https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/6e9a73a1b7c4e452846acb11635bf4a3.pdf
卒業・進級の認定基準

(概要) 学生便覧 P3-3 (教務規定 第9条) https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/6e9a73a1b7c4e452846acb11635bf4a3.pdf
学修支援等
(概要) クラス担任制があり、欠席、遅刻、欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
35人 (100.0%)	0人 (0.0%)	35人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 自動車販売会社、整備専門工場			
(就職指導内容) 無料職業紹介所の届け出を行い、求人票の提出があった企業に対して、求職票の提出があった学生を紹介している。毎年、企業を招いての企業ガイダンスを行い、個別の就職指導はクラス担任と入試・進路課が連携して実施している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ・一級自動車整備士 ・二級自動車整備士 ・フォークリフト運転技能講習 ・ソーシャル検定中級上級 ・サービス介助士 ・危険物取扱者 ・ガス溶接技能講習 ・アーク溶接特別教育 ・低圧電気特別教育 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
130人	3人	2.3%
(中途退学の主な理由) 経済的な理由を含む家庭の事情、病気 (精神的なものを含む) 療養 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任、副担任による定期的な面談及び個別相談 科目担当者による成績不良者に対する補習授業の実施等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	自動車整備科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2257.2 単位時間/単位	1040.4 時間	0時間	1216.8 時間	0時間	0時間
		単位時間					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人	215人	0人	19人	4人	23人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程表及びシラバス https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/cb2e48f651b31b83919458955c1f89c4.pdf
成績評価の基準・方法
（概要） 学生便覧 P3-2（教務規定 第5条） https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/6e9a73a1b7c4e452846acb11635bf4a3.pdf
卒業・進級の認定基準
（概要） 学生便覧 P3-3（教務規定 第9条） https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/6e9a73a1b7c4e452846acb11635bf4a3.pdf
学修支援等
（概要） クラス担任制があり、欠席、遅刻、欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
119人 (100.0%)	23人 (19.3%)	95人 (79.8%)	1人 (0.8%)
（主な就職、業界等） 自動車販売会社、整備専門工場			
（就職指導内容） 無料職業紹介所の届け出を行い、求人票の提出があった企業に対して、求職票の提出があった学生を紹介している。毎年、企業を招いての企業ガイダンスを行い、個別の就職指導はクラス担任と入試・進路課が連携して実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・二級ガソリン自動車整備士・二級ジーゼル自動車整備士・ソーシャル検定中級 ・ガス溶接技能講習 ・アーク溶接特別教育 ・低圧電気特別教育 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
228人	8人	3.5%
(中途退学の主な理由) 経済的な理由を含む家庭の事情、病気(精神的なものを含む)療養等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任、副担任による定期的な面談及び個別相談 科目担当者による成績不良者に対する補習授業の実施等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	国際オートメカニク科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2638.8 単位時間/単位	1144.8 時間	0 時間	1494.0 時間	0 時間	0 時間
			単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	96人	95人	6人	1人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程表及びシラバス https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/143c50d1bb3276bf55bf9ce783845ce5.pdf
成績評価の基準・方法
（概要） 学生便覧 P3-2（教務規定 第5条） https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/6e9a73a1b7c4e452846acb11635bf4a3.pdf
卒業・進級の認定基準
（概要） 学生便覧 P3-3（教務規定 第9条） https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/6e9a73a1b7c4e452846acb11635bf4a3.pdf
学修支援等
（概要） クラス担任制があり、欠席、遅刻、欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100.0%)	2人 (10.5%)	16人 (84.2%)	1人 (5.3%)
（主な就職、業界等） 自動車ディーラー、整備専業			
（就職指導内容） 無料職業紹介所の届け出を行い、求人票の提出があった企業に対して、求職票の提出があった学生を紹介している。毎年、企業を招いての企業ガイダンスを行い、個別の就職指導はクラス担任と入試・進路課が連携して実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・二級ガソリン自動車整備士・二級ジーゼル自動車整備士 ・ガス溶接技能講習 ・アーク溶接特別教育 ・低圧電気特別教育			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72人	4人	5.6%
(中途退学の主な理由) 怠学		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力補習実施、クルマに興味を持たせる取組の実施 ・学校独自の奨学金・授業料等減免制度 ・クラス担任制による個別相談体制の充実 		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	ハイエンジニア研究科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1971.0 単位時間/単位	684.0 時間	0時間	1287.0 時間	0時間	0時間
			単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	10人	0人	3人	5人	8人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 教育課程表及びシラバス https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/1dff5262fb103be9f172569fb0fa9a88.pdf
成績評価の基準・方法
(概要) 学生便覧 P3-2 (教務規定 第5条) https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/6e9a73a1b7c4e452846acb11635bf4a3.pdf
卒業・進級の認定基準
(概要) 学生便覧 P3-3 (教務規定 第9条) https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/6e9a73a1b7c4e452846acb11635bf4a3.pdf
学修支援等
(概要) クラス担任制があり、欠席、遅刻、欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2018年度新設のため (主な就職、業界等)	まだ卒業者が出ていない		
(就職指導内容) 無料職業紹介所の届け出を行い、求人票の提出があった企業に対して、求職票の提出があった学生を紹介している。毎年、企業を招いての企業ガイダンスを行い、個別の就職指導はクラス担任と入試・進路課が連携して実施している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 民間資格 職業訓練指導員、3次元CAD利用技術者、フォークリフト運転技能講習 玉掛け技能講習、巻き上げ機 (ウインチ) 特別教育、 タイヤ空気充てん作業特別教育			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 基礎学力補習実施、クルマに興味を持たせる取組の実施 学校独自の奨学金・授業料等減免制度 クラス担任制による個別相談体制の充実		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	ボディデザイン研究科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	1047.6 単位時間/単位	374.4 時間	0時間	673.2 時間	0時間	0時間
			単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
25人	19人	0人	3人	1人	4人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 教育課程表及びシラバス https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/0acd6f8553e7f14d97edb26f16d566d3.pdf
成績評価の基準・方法
(概要) 学生便覧 P3-2 (教務規定 第5条) https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/6e9a73a1b7c4e452846acb11635bf4a3.pdf
卒業・進級の認定基準
(概要) 学生便覧 P3-3 (教務規定 第9条) https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/6e9a73a1b7c4e452846acb11635bf4a3.pdf
学修支援等
(概要) クラス担任制があり、欠席、遅刻、欠課数に応じ、保護者と連携し段階的に指導を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100.0%)	0人 (0.0%)	17人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 自動車ディーラー、整備専業			
(就職指導内容) 無料職業紹介所の届け出を行い、求人票の提出があった企業に対して、求職票の提出があった学生を紹介している。毎年、企業を招いての企業ガイダンスを行い、個別の就職指導はクラス担任と入試・進路課が連携して実施している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 国家資格 自動車車体整備士 民間資格 中古自動車査定士、フォークリフト運転技能講習、有機溶剤作業主任者講習 研削砥石の取り換え等に係る特別教育、タイヤ空気充てん作業特別教育			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 基礎学力補習実施、クルマに興味を持たせる取組の実施 学校独自の奨学金・授業料等減免制度 クラス担任制による個別相談体制の充実		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
自動車システム工学科	200,000 円	1,020,000 円	118,000 円	研修旅行積立金、後援会会費
自動車整備科	200,000 円	1,020,000 円	18,000 円	後援会会費
国際オートメカニク科	200,000 円	780,000 円	18,000 円	後援会会費
ハイエンジニア研究科	150,000 円	1,020,000 円	18,000 円	後援会会費
ボディデザイン研究科	150,000 円	1,020,000 円	18,000 円	後援会会費
修学支援 (任意記載事項)				
学校独自の奨学金・授業料減免制度：有 特待生入試制度、下宿生住宅支援、通学者支援、同窓会奨学金				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法：ホームページで公表 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/e14b9ba25aa0035b961d21cda97c1971.pdf
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<p>専門学校静岡工科自動車大学校は、保護者や地域住民などの学校関係者等が、学校が実施する自己点検評価の結果を評価すること等を通じて、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、学校・家庭・企業等の業界関係者が学校の現状と課題について共通理解を深めて相互の連携を促し、学校運営の改善への協力を促進することを目的として学校関係者評価を行う。</p> <p>評価項目</p> <p>(1) 教育理念・目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか ・学校における職業教育の特色は何か ・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか <p>(2) 学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか有効に機能しているか ・人事、給与に関する規程等は整備されているか ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか <p>(3) 教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか

- ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
 - ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
 - ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
 - ・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか
 - ・授業評価の実施・評価体制はあるか
 - ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
 - ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
 - ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
 - ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか
 - ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか
 - ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組が行われているか
 - ・職員の能力開発のための研修等が行われているか”
- (4) 学修成果
- ・就職率の向上が図られているか
 - ・資格取得率の向上が図られているか
 - ・退学率の低減が図られているか
 - ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
 - ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか”
- (5) 学生支援 ”
- ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか
 - ・学生相談に関する体制は整備されているか
 - ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
 - ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか
 - ・課外活動に対する支援体制は整備されているか
 - ・学生の生活環境への支援は行われているか
 - ・保護者と適切に連携しているか
 - ・卒業生への支援体制はあるか
 - ・社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
 - ・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
- (6) 教育環境
- ・施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
 - ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修について十分な教育体制を整備しているか
 - ・防災に対する体制は整備されているか”
- (7) 学生の受入れ募集
- ・学生募集活動は、適正に行われているか
 - ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
 - ・学納金は妥当なものとなっているか
- (8) 財務
- ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
 - ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
 - ・財務について会計監査が適正に行われているか

- ・財務情報公開の体制整備はできているか
- (9) 法令等の遵守
 - ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
 - ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
 - ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
 - ・自己評価結果を公開しているか
- (10) 社会貢献・地域貢献
 - ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
 - ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
 - ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか
- (11) 国際交流
 - ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか
 - ・留学生の受入れ・派遣・在籍管理等において適切な手続きがとられているか
 - ・留学生の学修・生活指導について学内に適切は体制が整備されているか
 - ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

評価委委員の構成

委員定数 4 人、区分（PTA、卒業生、企業等委員） 詳細は下部「学校関係者評価の委員」の項参照

学校関係者評価結果の活用

毎年、学校関係者評価委員会において評価委員それぞれの立場でのご意見、ご提案をいただいた後、学校評価書（学校関係者評価書）に取りまとめをする。学校評価書は学校関係者評価委員にフィードバックすると共に本校教職員に周知し、科・学年会議又は分掌会議（教務、自治活動、施設管理）に展開し、各部署部門での改善案を検討する。改善案の中で改善時期、担当者、責任者など詳細を決め実行する。年度末には改善された状態について自己点検を行うことで改善状況のチェックを実施する。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
本校後援会会長	平成 30 年 5 月 12 日～ 令和元年 5 月 11 日	P T A
一般社団法人静岡県自動車整備振興会	平成 30 年 5 月 12 日～ 令和元年 5 月 11 日	卒業生・企業
静岡県自動車整備商工組合	平成 30 年 5 月 12 日～ 令和元年 5 月 11 日	企業等委員
トヨタカローラ静岡株式会社	平成 30 年 5 月 12 日～ 令和元年 5 月 11 日	企業等委員

学校関係者評価結果の公表方法：ホームページで公開

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.kohka.jp/kohkacms/wp-content/uploads/2016/03/b1219c4418d140758785c609d0426334.pdf>

第三者による学校評価（任意記載事項）

民間の評価機関等からの第三者評価：無

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.kohka.jp/disclose>